

平成2年1月1日から令和3年8月31日までの間に皮膚科外来にて皮膚生検を受けた悪性黒色腫の方へ「悪性黒色腫の予後と相関する遺伝子発現に関する研究」の研究参加のお願い

- (1) 承認番号：M2000-1968（旧1968番）番
- (2) 研究課題名：悪性黒色腫の予後と相関する遺伝子発現に関する研究
- (3) 研究責任者：東京医科歯科大学医学部附属病院 皮膚科 准教授 並木 剛
- (4) 研究期間：医学部倫理審査委員会承認日から令和8年8月31日
- (5) 研究の概要：

悪性黒色腫に関わる遺伝子のスイッチが入っているのかいないのかを、免疫組織染色という方法を用いてその遺伝子に蛋白があるかないかによって調べます。免疫組織染色とは検査に使用した検体を用いてその蛋白のあるなしを見る方法ですが、それにより目的とする蛋白が治癒に関わるのかどうかを調べます。本研究は国内の複数の施設が参加して行われる多施設共同研究です。なお、本研究は東京医科歯科大学医学部倫理審査委員会の承認と機関の長の許可の下、実施いたします。

研究機関：東京医科歯科大学（責任者：並木 剛）、大阪大学（責任者：種村 篤）、国立がん研究センター（責任者：山崎直也）、山形大学（責任者：林 昌浩）

- (6) 対象となる方：

当院にて皮膚生検もしくは切除を受け、悪性黒色腫と診断された20歳以上の方。直接研究参加の説明を受けていない、既に検査済みの方はこのポスターの掲示をもって研究参加への拒否の機会を保障します。

- (7) 研究の方法：悪性黒色腫のパラフィン検体の薄切を行い匿名化とし免疫染色を施行しデータ解析を行います。性別・年齢・腫瘍の部位・厚さ・病期・初診日・再発日等の臨床情報を使用します。

- (8) 共同研究施設、検体・データ送付先

本研究は複数施設による多施設共同研究です。共同研究施設からも臨床情報と検体が本学に送付され、その検体の返却はなく本学皮膚科にて永久に保管されます。ただし、あなたより破棄の要請があれば破棄致します。試料を破棄する場合には識別番号を判読不能化した後破棄致します。検体は悪性黒色腫の本研究に使用するものであり、本研究以外の他の悪性黒色腫の研究に使用する場合にはポスターに掲示の上にて使用致します。

- (9) 試料等の保管について

本研究に使用された検体と情報は本学皮膚科で永久に保管致します。

(10) 研究協力の任意性について

あなたの検体や臨床情報を本研究に使用することについて、ご了承いただけない場合には下記までご連絡ください。ご了承いただけない場合においても、あなたやあなたの家族が今後の診療において、不利益を被るようなことは一切ございません。

(11) 匿名化の方法、研究公表時の匿名性

個々の方の個人情報には識別コードを用いて匿名化し、研究公表時にもあなたの人権及びプライバシーの保護について十分配慮します。

(12) 利害相反について：本研究は運営費を用いて行われます。本研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

(13) 連絡先

東京医科歯科大学医学部附属病院 皮膚科 准教授 並木 剛

所在地：東京都文京区湯島 1-5-45

電話番号（直通）：03-5803-5282

FAX：03-5803-5289

対応可能時間帯：平日 9:00～17:00

(14) 苦情などの窓口

医学部総務係（03-5803-5096）

対応可能時間帯（平日 9：00～17：00）